



とうおん 議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

②～⑤ 3月定例会
当初予算・質疑

⑥～⑪ 一般質問

⑫～⑬ 委員会報告等（総務産業建設・文教市民福祉）

⑭ 議会改革講演会報告等

⑮ 表決・議決結果一覧表

⑯ 東温高校生との座談会報告等

2018年
第49号

平成30年5月1日発行



疾走 春の重信川サイクリングロード

3月定例会

平成30年度一般会計
148億9,700万円(前年度比3.4%増)
特別会計、企業会計を合わせた
総額は259億8,750万円(前年度比1.0%減)

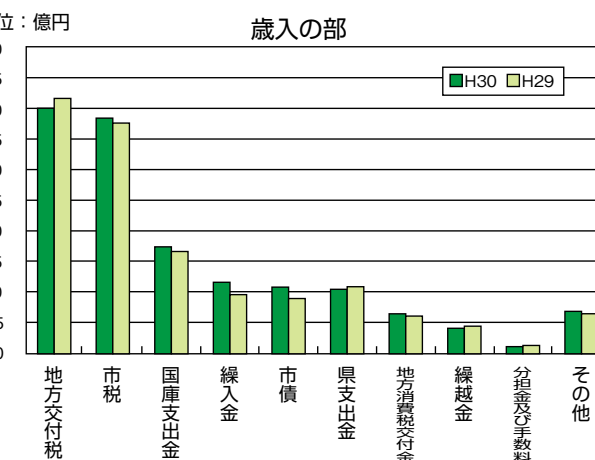
3月定例会が2月26日から3月14日まで17日間の会期で開催された。一般会計は148億9,700万円(前年度比3.4%増)で、特別・企業両会計を合わせた総額は259億8,750万円(1.0%減)。
今回定例会では、一般会計当初予算など議案29件を原案可決、教育長の任命、人権擁護委員候補者の推薦に同意した。
また8人の議員が一般質問を行った。

平成30年度一般会計予算に計上された新規及び大幅増額事業等

- 注事業名の◎印は新規事業
- 印は大幅増額事業
- ☆印は総合戦略事業
- (生涯健康づくりの推進)
健康診査・がん検診事業のうち
ドック健診 540万円
- ◎地域福祉体制づくりの推進)
地域福祉推進事業 46万円
- ◎障がい者施策の充実)
障害福祉サービス費 10億9,293万円

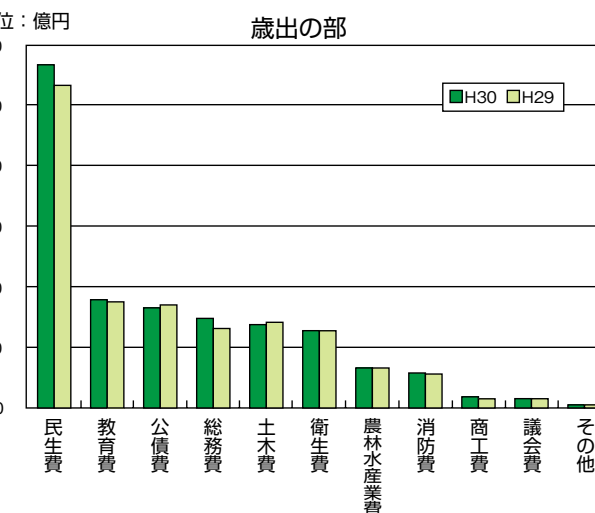
平成30年度 一般会計予算の対前年度比較 (前年度対比3.4%増)

単位: 億円



- (子育て支援の充実)
☆子ども医療費助成 1億3,156万円
- ☆ファミリー・サポート・センター 1億3,156万円
- ☆ファミリー・サポート・センター 1億3,156万円
- ☆ファミリー・サポート・センター 1億3,156万円
- ☆子育て支援拡充事業 1,485万円
- ☆児童福祉施設等人材バンク活用事業 66万円
- ☆子ども用品リサイクル促進事業 15万円
- 保育所改修事業 1億3,513万円

単位: 億円



- ☆私立幼稚園就園奨励事業助成のうち多子世帯保育料軽減分 42万円
- ☆多子世帯保育料等軽減事業 527万円
- 幼稚園施設改修事業 9,452万円
- ☆婚活支援事業 106万円
- ☆特定不妊治療費助成 100万円
- (安全・安心な都市基盤の整備)
☆スマートインターチェンジ整備事業 5,040万円



東温市さくらの湯観光物産センター

平成30年度 特別会計・企業会計当初予算			
会計名称	当初予算額	前年度対比	
国民健康保険	36億5,600万円	△7億5,050万円	17%減
後期高齢者医療	4億1,240万円	1,640万円	4.1%増
介護保険	39億9,590万円	1億3,060万円	3.4%増
ふるさと交流館	—	△1億6,650万円	※
農業集落排水	2億 400万円	2,440万円	13.6%増
公共下水道	12億3,850万円	1億 160万円	8.9%増
水道事業	15億8,370万円	△1億 410万円	6.2%減

※ふるさと交流館特別会計は廃止されました。

- (良好な住環境づくりの推進)
☆移住地「とうおん」ブランド創生事業 2,000万円
- ☆移住・就業体験事業 250万円
- ☆移住コーディネート事業 649万円
- ☆U・J・ターン者支援事業 100万円
- ☆空き家有効活用支援事業 693万円
- ☆とうおん移住定住促進事業 1,500万円

- (消防体制と防災・減災対策の充実)
◎ため池ハザードマップ作成事業 1,159万円
- ◎避難所整備強化事業 1,392万円
- ◎学校防災教育実践モデル地域研究事業 60万円
- (農林業の振興)
☆林業先進事例調査研究事業 61万円
- (商工業の振興)
☆中小零細企業現状把握調査事業 83万円
- ☆中小零細企業販路拡大支援事業 300万円
- ☆中小零細企業販路拡大マッチング事業 36万円
- ◎☆新事業・新サービス展開支援事業 300万円
- ☆とうおん健康医療創生事業 600万円
- (観光・物産の振興)
◎ふるさと交流館さくらの湯維持管理事業 1,645万円
- ◎さくらの湯観光物産センター維持管理事業 900万円

- ☆エコツーリズム促進事業 130万円
- ☆とうおんゆったりサイクリング・ファミフェス事業 317万円
- ☆地域資源活用全国展開支援事業 20万円
- (雇用・勤労者福祉の充実)
☆雇用創出奨励金支給事業 90万円
- ◎雇用対策支援事業 145万円
- (学校教育の充実)
○小学校施設大規模改修事業(川上小学校プール改修) 2億8,129万円

- 中学校施設大規模改修事業(重信中学校プール改修) 7,970万円
- ☆国際理解教育推進事業 83万円
- ☆特色ある学校づくり事業助成 142万円
- ☆演劇指導等アウトリーチ事業・小学校 30万円
- ・中学校 10万円
- ◎森のようちえん推進事業 30万円
- (青少年の健全育成)
◎学校・家庭・地域連携推進事業 181万円
- 文化・スポーツの推進)
○体育施設改修事業 1億2,669万円
- (地域コミュニティの育成)
○コミュニティ施設耐震改修事業 1億1,179万円
- ☆集落支援事業 239万円
- ☆地域おこし協力隊導入事業 4,419万円
- ☆頑張る中山間地域等支援事業 829万円
- (市民と行政との協働のまちづくりの推進)
☆市民提案活動支援事業 212万円

☆多世代交流拠点運営管理事業 390万円

☆アートヴィレッジとうおん創生事業 4,000万円

◎☆東温アートヴィレッジセンター運営管理事業 996万円



アートヴィレッジセンター 小劇場

☆市民ミュージカル開催事業 646万円

☆地方創生総合サイト運用管理費 117万円

議案に対する質疑

平成29年度一般会計補正予算

問 農業用施設災害復旧費の減額と繰越明許費(※)の説明を。

答 農業施設災害の減額のうち、一番大きいものは上林の取水堰工事で、4,000万円を減額。県の河川復旧工事と隣接する場所のため、施工手順上、県の工事を平成30年度に行い、市の工事を平成31年度としたことによるもの。

繰越明許費は、4月以降も緊急に復旧工事を行うためのもの。※繰越明許費とは、年度内に支出が終了しない見込みの経費であらかじめ議決を経て翌年度に繰越し使用できるもの。

問 防災行政無線の戸別受信機の減額補正の検証は。

答 平成29年11月末で旧受信機が使えなくなること、デジタル化が進むと思っていたが、戸別受信機本体の価格が高いこともあって、導入が進んでいないと理解している。

※この質疑の後、購入費補助対象者が拡大された。
(詳しくは、危機管理課まで)

問 スマートインターチェンジの必要性は。

答 自衛隊・県警機動隊などの災害派遣でオール愛媛・オール四国にメリットがある。また、東温市にとっては、工業団地がスマートインターチェンジの近くにできることで、これらの地域経済の活性化、そして雇用増や人口増につながればよい。また、将来的なインフラ整備などにつながる。

問 コンビニ交付サービス(住民票等)の運用費と国の負担は。

答 コンビニ交付の運用費用は、システムクラウド使用料、451万1,000円と、地方公共団体情報システム機構への220万円、計670万1,000円が実際の運用にかかる経費。国が2分の1を特別交付税で負担。コンビニへの交付手数料は1枚当たり115円。

問 小学校の学習指導要領変更による英語授業の対応は。

答 平成30年度から次期学習指導要領の移行措置期間に入り、全面実施になるのは平成32年度から。教員の負担を軽減し、子供たちが外国語活動・英語教育

平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

問 指定管理となるが、今までの地域業者、また地域イベントはどのようになるのか。

答 これまでのイベント等について指定管理者、業者・地域の方々と協議の場を設け、既存事業は継承していきたい。

平成30年度一般会計当初予算

問 認定こども園等について。

答 保育所改修基本計画の見直しの業務を受けて、子ども・子育て支援業務計画第2期計画の策定において検討していきたい。

問 学校施設の統廃合について。

答 小規模校の校区制を緩和し、校区外の入学等で積極的に受け入れているので統廃合については考えていない。

問 血ヶ嶺竜神平のトイレは。

答 久万高原町とトイレ設置に関して協議を重ねた結果、平成30年度に血ヶ嶺竜神平トイレ設置検討委員会を設置することで合意した。4月早々に委員会を立ち上げ、竜神平の現状と課題、

設置するトイレの内容、設置後の維持管理なども含めた協議を慎重に行い、なるべく早い段階で結論を出したい。

問 ふるさと納税の東温市への影響は。

答 ふるさと納税の寄附実績は、平成29年度1月末現在、件数は336件、金額は740万4,000円。平成30年度は寄附金の見込額1,000万円で500万円を記念品代として計上。平成28年度実績では、2,100万円の税金が控除されている。平成30年度予算も同様に2,100万円の減額見込み。

問 スマートインターチェンジの場所は。

答 最終決定は、平成30年度早々に地区協議会を開催し、決定する。

問 水田農業推進における昨年との違いは。

答 平成30年産米の生産目安は面積821ha、配分率61・2%を目標とした。3月中に農家への周知を行う。
直接支払交付金(7,500円)の廃止に関しては、産地交

平成30年度国民健康保険特別会計当初予算

問 繰越金4億円の使い方は。

答 県下20市町の保険税が出そろわないと判断できないが、平成29年度金額をベースに考慮し、平成30年度以降保険料が上がるようなら繰越金を取り崩してここ数年は上がらないようにしていきたい。

国民健康保険税条例の一部改正

問 税率改正の影響は。

答 一人当たりの保険税額比較で、医療・支援・介護の合計は平成29年度当初と比較し、年1万536円の減額となっている。

地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部改正する法律の施行に伴う関連条例の整理に関する条例の制定

問 条例制定の目的は何か。
答 国が介護離職の防止を目的に在宅介護の充実・推進ということで、施設の基準等を緩和し、新たに介護、医療の連携等の推進を目的に法改正を行ったことにより市条例も改正となった。



いきいき健康講座

問 健康増進事業による医療費削減は。
答 講演等による啓発により健康に関する知識を市民の方々に習得していただき、実践をしていただく。
医療費削減に効果があるのは、健康診断・がん検診で、受診率を上げていく取り組みが重要。ドック健診など受診環境を整えていく。

に興味や関心を持って学習に取り組めるよう、英語教育に関して堪能な外国語指導助手を新たに1名採用し、平成30年度から小学校に派遣する。

8議員 市政を問う!!

一般質問



3月定例会

社会福祉課長
都市部の世帯では給額が減額になる向がある一方で、

問 生活保護基準は今年10月から改悪され、保護基準が削減される。都市部の方を中心に削減されるようだが、東温ではどのような状況か。

生活保護基準の引き下げに反対



森 眞一 議員

問 学校給食費の補助をしてはどうか。

学校給食費に補助を

東温市が属する地方の世帯では、一般的に支給額が増額する傾向となっている。地方のモデル世帯、40代の夫婦と子ども2人の世帯では、見直し前の16万4,000円から3.4%減の15万9,000円と減額になる一方で、30代の夫婦と子ども1人の世帯では、13万円から4.6%増の13万6,000円。50代の夫婦世帯では、9万7,000円から9.7%増の10万6,000円とほとんど年代のモデル世帯で増加すると公表されている。東温市でもほとんどの世帯が増額になるものと見込んでいる。

高須賀教育委員会事務局長
給食費を全額補助した場合の市の負担額は、昨年5月1日現在の対象人数と給食単価等をもとに試算すると、全額補助の場合は、約1億3,500万円、1食当たり100円の補助をした場合は、約5,300万円、第2子以降を無償にした場合は、約4,700万円になる。給食費の減額、無償化については、学校給食法第11条で学校給食費は原則として保護者負担とすることが定められていることから、現時点



学校給食費を無償に

大西長寿介護課長
介護保険の費用負担については、介護保険法で市町村の負担割合が規定されており、介護給付費の12.5%を市負担分として一般会計から繰り入れている。その他の法定割合を超える繰り入れは介護保険制度の対象者である高齢者とそれ以外の若い方との公平性が失われることから、国において、介護保険料及び利用料を減額するための繰り入れは適切でないとの指針が示されている。

介護保険

問 一般会計からの繰り入れで介護保険の保険料・利用料を減額すべきだと思いませんか。

で補助を行う予定はない。

問 市のごみ処理に係る予算は。

池川環境保全課長

市のごみ処理施設のクリンセンターとリサイクルセンターに係る人件費、管理運営費、補修工事費、ごみ収集運搬処理委託料費等の予算総額は約4億5,300万円となっている。

地域環境問題



束村 温輝 議員

問 市の資源ごみ収入は。

池川環境保全課長

本市の資源ごみの売却収入は、平成28年度実績で紙類約261万円、金属類約414万円、プラスチック及びペットボトル約260万円となっている。

問 ごみ分別のネット検索システムを取り入れてみては。

池川環境保全課長

平成29年度、ごみ

問 資源ごみ集積所から遠い方への配慮は。

池川環境保全課長

高齢化社会を迎えるため、福祉回収を平成30年度から検討して仕組みを構築していきたいと考えている。



自治組織のごみステーション

問 野良猫に対する不妊・去勢手術補助は。

池川環境保全課長

平成30年度から飼い主のいない猫に対する不妊・去勢手術費用の助成を計画しており、地域猫を管理している人の負担を軽減することができ

分別早わかり帳五十音順を作成し、配布とともに、市ホームページでも確認できるようにしており、定期的に改定を実施していく計画である。

広報とうおん

問 広報とうおんに掲載されている各種日程をインターネットカレンダーで同期できるシステムを取り入れてみては。

永野総務部長

グーグルカレンダーの活用等、市民への情報提供に、より効果的な方法を調査研究し、市民サービスの向上に努める。

地域通貨制度創設

問 地域通貨制度創設の進捗状況は。

加藤企画財政課長

効果的、継続的に利用していくためには、土台となるコミュニケーションの形成や利用するサービス内容の充実が必要であると考えており、将来的な展望も踏まえ、検討を行なっていくたい。



近藤 千枝美 議員

地域防災力の強化を

勤務のサラリーマン団員が多く、昼間の有事に集まりにくい。中山間地域では人口減少、高齢化で団員確保が困難となっている。想定される災害の種類、規模、大規模災害団員の活動内容、基本団員の数、関係する団体の役割分担など、地域の実情を踏まえて調査・研究を行う。

学校における心肺蘇生教育

問 消防団員の人員確保の現状と課題は。大規模災害時に特化した消防団員を導入してはどうか。

堀内消防長

現在、基本団員597名、うち女性団員18名。機別別団員8名。充足率94・8%。平均年齢45歳。課題としては、市外

問 児童生徒への心肺蘇生教育の現状は。

学校におけるAEDの設置状況、教職員へのAED講習の実施状況は。

池川教育長

小学校では2校が夏休み前に保護者とともに水難救助講習の中で心肺蘇生法の

必要性を学習。中学校では、保健体育科の授業の中で、心肺蘇生法やAEDについて学習。AEDは全小中学校に2、3台設置。教職員へのAED講習は、毎年7月救命技術向上のため、普通救命救急講習会を実施。緊急時に的確にAEDを使用することができ環境づくりを推進する。

野中健康推進課長

不育症の対象者や治療方法など実態が把握できていない。国、県、他市町の動向をみながら検討したい。



少年消防クラブ員の救命訓練

少子化対策・子育て支援の充実を

問 妊娠はするものの2回以上流産や死産を繰り返し、出産に至らない不育症の治療費助成をし

産婦健康診査の費用助成は県下統一実施を望む声も多く、今後、他市町の取り組みを参考に検討したい。新生児聴覚検査の公費助成は、平成30年10月1日から県内統一で実施予定。予防接種管理は、無料登録できる県の子育て応援アプリ「きらきらナビ」がある。市としては、今まで通り対面業務と個別勧奨を推進する。



安井 浩二 議員

子育て支援ファイル

問 子育て支援ファイルを用意する全

てがわかる統一されたガイドブックにしてはどうか。また、市のホームページから子育て全般が簡単に検索できるようにしてはどうか。

加藤市長

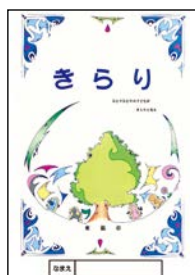
子育て支援ファイル「きらり」は、関

係部署・機関において、常に最新の情報が更新されており、内容は充実しているが、様式に統一性がなく、資料ごとに重複した内容が見受けられるなど、整理が必要である。乳幼児期の防災のあり方等のファイルがさらに活用しやすい形での検討する。子育てガイドブックは「とうおんNOTE」の「子育てナビ」において、最新の情報を提供している。「子育てナビ」の内容をガイドブック形式に目次立てするなど、わかりやすい形で提供できるように検討する。

丹生谷保育幼稚園課長

市のホームページは、子育ての専用タブやバナーを新設するなど、見た目にもわかりやすく、検索

しやすい方法について検討する。また、愛媛県の「きらりナビ」へのリンクを行うなど、より使いやすい子育て情報の発信に努める。



子育て支援ファイル「きらり」と育児のしおり



接遇と運転マナー

問 受付カウンター業務の選定方法をプロポーザル方式にしてはどうか。また、公用車の運転も接遇に通じることから、運転マナー向上のマニュアルを作成すべきではないか。

の活用方法等について協議を行った。平成29年度は、対応状況について報告し、学校医や市消防署職員より指導・助言を受けた。対応手引きの策定や、教職員を対象とした研修会の開催に向け、協議している。

大石副市長

15団体が減、1団体が新たに追加され、現



おいしい給食

補助金の見直し

問 現時点での団体補助金を受けている団体の数は。また、補助金の監査指摘とその対応は。

平成28年度に対策委員会を設置。学校医、消防、学校給食センター関係者、保育所・幼稚園、養護教諭、栄養教諭等による28名で構成。2回の会議を開催し、緊急時の対応ができる共通のマニュアルを策定。市内関係機関の連携を図るために専門部会を設置し、緊急対策マニュアル

時点で24団体である。監査については、平成29年度までの6年間で20件の指摘を受けている。適切な改善策を講じ、次の監査時に報告することとしている。

東温市補助金等審査委員会は継続されているのか。

増額、減額、廃止等への対応は。

大石副市長

継続して設置はしていない。所管課による団体へのヒアングを通じ、必要性、有効性、継続的な補助金の交付が必要か、要望額が適正かを検証、算出し予算要求を行っている。その後ヒアング、予算査定を経て決定。公益性や妥当性などを精査した上で、厳正に運用し、適正な補助金の支出に努めていく。



亀田 尚之 議員

次世代に継ぐまちづくりを

問 市長公約と第2次東温市総合計画との整合性は。

加藤市長

市政運営の基本となる市の最上位計画である総合計画の基本方針と整合性を保ちながら、4つの公約は基本路線を守りつつ、独自性を出して市政を推進する。

問 4つの市長公約の取り組み施政は。

加藤市長

公約の市民の声を大切にするまちづくりでは、行政区別・世代別タウンミーティングをこれまで16回開催し、264件のご意見やご質問をいただいている。各地域や世代が抱える課題に対して向き合い、施策・事業の企画立案に反映していきたい。

健康日本一のまちづくりでは、市民が健康に対する知識を深め、バランスのよい食事を取り、適度な運動を実践し、元気で生活する高齢者の割合が日本一多いまちづくりをめざす。社会保障費縮減の意味からも健康や予防が担う役割は、ますます重要であり、みんなが元気になる健



細川 秀明 議員

猫の苦情対策は排除から共存へ

問 飼い主のいない猫に対する相談や苦情とともに、殺処分数が減少していない中、不妊・去勢手術補助金の見直しが必要ではないか。

森市民福祉部長

愛媛県動物愛護センターへの送致実績

は、平成28年度において、飼い主からの引き取り、拾得者からの引き取り、合わせて103頭となっている。なお、平成28年度の不妊・去勢手術補助金交付実績は、75件であった。最も苦情の多い飼い主のいない猫に対する費用の助成制度の導入を計画している。個人への助成は、雄猫1頭当たり4,000円、15件分、雌猫1頭当たり8,000円、15件分、愛媛県医師会に対する助成は1頭当たり8,000円、10件分の予定。

問 地域猫とは、飼い主のいない猫を地域住民が主体となって、ルールに基づいて管理し、不妊去勢手術をして、これ以上数を増やさない活動である。地域



子猫の命を考えましょう

の中で、人間と猫とが平和に共存できるとともに、地域の活性化につながる認識は。

森市民福祉部長

愛媛県では、地域猫活動の普及啓発推進のため、「地域猫活動ガイドライン」を策定している。平成30年度から周辺市町と連携し、市民活動の支援を行う。

加藤市長

猫であれ、地域づくりであれ、よき隣人関係の構築であれ、一つのきっかけとして、まちづくりに生かしていきたい。

体験学習の課題

問 わんぱく広場やJr・リーダー育成講座は、「地元学」やFC今治の岡田オーナーが中心となった「バリチャレ」の手法が参考になると思われるが見解は。

渡部生涯学習課長

市の特色を活かした活動がほとんどなかったことから、平成30年度にわんぱく広場を拡充させて「学校・家庭・地域連携事業」として実施する予定であり、市内の文化財めぐりや伝統芸能体験なども取り入れたい。今後、「地元学」の考え方を参考に、若者が失敗を恐れず何事にもチャレンジできるように内容を充実させて、東温市にふさわしい人材発掘・育成の場にしたいと考える。



河之内地区タウンミーティング

ア会議の推進に向け、関係機関と調整を行う。

農業振興政策

問 次世代に継ぐ農業生産基盤と高齢化・担い手対策は。

丹生谷産業建設部長

農家の負担が不要な農地中間管理事業による、ほ場整備事業の推進及び集落営農組織の立ち上げや法人化による大規模経営化を推進する。地区外からの新規就農者の受け入れ体制については、青年就農給付金や次世代ファーマーサポート事業による支援により成果も上がっており、継続して進めていく。今後、地域農業再生協議会でも担い手確保の観点から新規就農者支援について調査を進める。

放課後児童クラブ受け入れ保留者へ早期救済を



山内 孝二 議員

問 南吉井小学校放課後児童クラブ

では、この春から定員超過となり、他の学校への加入が勧められているが、実態はどうなのか。問題の本質を見極め、子供の気持ち・環境、保護者の実情、市の子育て支援策を踏まえ、改善を求める。



南吉井放課後児童クラブ「たんぼ組」

丹生谷保育幼稚園課長

加入許可選考会議で決定した。加入保留児童は28名で通常利用の9名は同校の2クラブ間で調整し、長期休業中（夏休み等）のみの19名は他の校区での受け入れ先を確保している。

池川教育長

19名の児童が地元の子供クラブに行けず、他校区のクラブに行くことは問題があり、保護者に充分話を聞き、学校と連携しながら解決策を検討する。

えひめ国体の東温市レガシーの活用を

問 有形・無形のレガシーはどのような活用していくのか。

高市国体推進課長

有形のレガシーは、助成金等を活用してツインドームの大規模改修等は実施したが、更衣室・応援観覧席等は、他の市町同様仮設対応となり大会終了後撤去した。無形レガシーは、多くの市民、団体、関係機関の支援・協力を得てイベントを成功させ、市として自信と経験値の向上が得られた。また、競技を共催した他市町との連携、競技団体との信頼関係が構築され財産となった。今後「スポーツ立県えひめ」の一翼を担えるよう、市の魅力を発信していく。

安井市民課長

愛媛県は医療費が全国平均より高いうえに平成27年度は、超高額なC型肝炎治療薬の使用の急増と市町の新事業への取り組みが間に合わなかった。平成30年度の東温市の評価は、平成29年度が基準となり、この制度にしっかり取り組み、評価は県下20市町で1位で、この制度による交付予定額は報道された平成28年度に比べ、約5倍となっている。

総務産業建設委員会

委員会での審査概要

◎平成29年度東温市一般会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

市役所西交差点の安全は。

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

◎平成29年度ふるさと交流館特別会計補正予算

の報酬及び費用弁償に関する一部改正について

◎特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正について

◎特別会計条例の一部改正について

◎国民健康保険税条例の一部改正について

◎ふるさと交流館条例の一部改正について

◎水道事業の設置等に関する条例の一部改正について

◎消防手数料条例の一部改正について

◎指定管理者の指定について

◎東温アートヴィレッジセンターの指定管理者となる共同事業体の運営人数は。

◎専門的に関わる協力隊員として、今回雇用した1名と平成30年度に採用する1名を合わせた2名が基本的に運営管理やマネジメントに従事する。残りの協力隊の関わりもあり、常時4名体制として、パート雇用6名のシフトを想定している。

◎貸館収入の見直しは。

◎初年度は収入面だけでなくアートヴィレッジ構想のPRやプロモーションによって、人を集客することが目的となる。2

全ての対象家庭に交付済み。おむつは、2月1日時点で、99名に4,950枚交付している。

◎歯周病と糖尿病の関係等、口腔内環境と全身疾患の関連性が言われており、母子保健事業や健康フォーラム等のイベントで唾液検査をし、保健指導をする。

◎平成30年度東温市国民健康保険特別会計予算

◎平成30年度東温市後期高齢者医療特別会計予算

◎平成30年度東温市介護保険特別会計予算

◎東温市附属機関設置条例の一部改正について

◎持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

◎東温市介護保険条例の一部改正について

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

◎東温市指定居宅介護支援等の

年目以降は、貸館だけでなく独自の事業により、前年以上の収入を上げていくことが前提となる。その上で5年後の収益事業ビジョンを協議していく。

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について

◎土地改良事業に係る計画の概要について



ガリラヤ荘で福祉避難所訓練の状況・課題について協議



アートヴィレッジセンターでの現地調査

議会改革講演会

東温市議会は議員研修会として1月16日に市役所大会議室において、「議会改革講演会」を開催いたしました。

テーマは「市議会における委員会のあり方について」と題し、松山大学法学部教授 妹尾 克敏氏（地方自治法）を講師に迎え、議員全員、市長はじめ多くの職員が聴講いたしました。

東温市では、一年間に4回の定例会で議案審議を行います。審議案件は、本会議で執行者より提案理由の説明を受け、質疑の後、総務産業建設委員会と文教市民福祉委員会（議員全員がどちらかの委員会に所属）に付託されます。審査案件は各委員会、審査（質疑・採決等）を行います。その後、本会議最終日に委員会審査の結果を委員長が報告し、委員長報告に対する質疑、討論の後、採決を行います。また、委員会は所管事項を年周通じて継続調査も行なっています。このように委員会中心主義で議会運営を行なっています。

そうしたなか、さらなる委員会の充実のため、妹尾教授は持論の委員会には「議会の中にある議会」を念頭に熱く語ってくれました。

東温市議会は、自治体議会である。憲法93条に議事機関として議会を置くことあり、市議会は議決機関でなく議事機関である。市長と議会議員は住民の代表、市長は市長としての住民に対しての責任がある。議員は議会という機関として住民に責任がある。議員定数が減るということとは多様な住民の意向が正確に反映されないことを意味している。

委員会は、付託案件の審査・所管事項の調査を分担して能率的、効率的に行う。議員は委員会では、それぞれの分野の専門家であるべきで、そのためには議員個々人の専門領域というもの確立しておく必要がある。委員会において専門的な知見を持ち寄って究極的には住民の福祉の増進をめざして議論をし、政策等を決定する、これが最も生産的な議会活動、委員会のあり方である。つまり、委員会は「議会の中にある議会」。

議会改革講演会報告等

東温市議会は、昨年4月に委員会を充実するための研修を行い、またこの講演を受け協議を重ねた結果、3月議会から定例会の期間中に委員会調査日を設けました。委員会調査日に、予算に計上された施設等の視察や所管事項の質疑や協議等を行います。その上で議題を決めて討議し、合議した事項を執行者に提案します。また、集中して委員会活動をするために、6月議会からは、定例会の日程を変更します。（最終ページに記載）今後も、住民福祉の向上のため、さらなる議会改革に努めます。

議会運営委員会
委員長 安井浩二



妹尾教授の講演



閉会中の主な議会活動

- 平成30年1月
- 10日 議会だより編集委員会
- 15日 議会だより編集委員会
- 16日 議会改革講演会
- 17日 議会だより編集委員会
- 22日 議会運営委員会
- 25日 議員全員協議会
- 平成30年2月
- 5日 議会運営委員会
- 9日 議会だより編集委員会（反省会）
- 19日 議会運営委員会
- 23日 議員全員協議会

議案等議員別表決結果、及び議決結果 一覧表

○：賛成 ×：反対 可：原案可決 否：否決 同：同意

議員名		東村温輝	亀田尚之	松末博年	細川秀明	丹生谷美雄	山内数延	渡部繁夫	森 眞一	相原真知子	丸山 稔	近藤千枝美	安井浩二	大西 勉	山内孝二	伊藤隆志	議決結果
平成30年第1回定例会（3月）																	
議案 1	平成29年度東温市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 2	平成29年度東温市介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 3	平成29年度東温市ふるさと交流館特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 4	平成29年度東温市農業集落排水特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 5	平成29年度東温市公共下水道特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 6	平成29年度東温市水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 7	平成30年度東温市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 8	平成30年度東温市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案 9	平成30年度東温市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可
議案10	平成30年度東温市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可
議案11	平成30年度東温市農業集落排水特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案12	平成30年度東温市公共下水道特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案13	平成30年度東温市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案14	東温市個人情報保護条例及び東温市情報公開条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案15	東温市附属機関設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案16	東温市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案17	東温市特別職の職員の給与の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案18	東温市特別会計条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案19	東温市国民健康保険税条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案20	持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案21	東温市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可
議案22	東温市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可
議案23	地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可
議案24	東温市ふるさと交流館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案25	東温市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案26	東温市消防手数料条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案27	指定管理者の指定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案28	土地改良事業に係る計画の概要について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案29	東温市中小企業振興資金融資条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案30	東温市教育委員会教育長の任命について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	※	○	○	○	同
諮問 1	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同

※採決には加わっていません。

表決・議決結果一覧表

特集
若者にも読んでもらえる
議会だよりづくり

東温高校生との 座談会

議会だより編集委員会は、若者にも読んでもらえる議会だよりづくりの一環として、若者の声を議会だよりに反映すべく若者との交流会を企画。第1回目の企画として東温高校生との座談会を開催した。



3月15日午後、東温高校星野友明生徒会長、山岡結菜副会長、長野理緒副会長をはじめとする生徒会役員10名が生徒会顧問の越智先生とともに東温市議会を訪れた。

本会議場にて伊藤議長の歓迎のあいさつのあと、委員会室へ移動し座談会を開始。初顔合わせということもあり、若干の緊張感があったもののリラックスモードの中、貴重な意見を聞くことができた。



若者からみた議会だより

何を書いているかわからない。文字数が多い。文章が長い。文章を短く。グラフや表があるとよい。白か黒かのように簡潔明瞭に、結果だけわかればよい。長い文章を読みたい人のために別枠で長文があってもよい。難しい漢字にはふりがなを。質疑応答のスタイルはよい。写真が多い方がよい。マンガ形式も取り入れてみては。委員会がどのような委員会なのか、委員会名だけではわからない。

など、議会だよりに関して多くの意見が出ました。編集委員会として意見を参考に読みやすい議会だよりをつくっていききたいと思っています。

座談会に参加してくれた10名のうち6名が東温市出身。市外からの通学生も含め全員が東温市に熱い思いがあり議会だより以外のことも真剣に語ってくれました。次号において報告します。

募集

座談会に参加してくれる若者グループ募集。
詳しくは議会事務局まで。

座談会から学んだこと



副会長
山岡 結菜

今回の座談会を通して、市議会議員の方々に対する印象が変わりました。私は今まで市議会議員の方々に関わる機会がなかったのですが、話にくい印象を持っていたかもしれません。しかし、今回お目にかかりお話をさせていただき、私たちの意見や要望を献身的に聞いてくださるその姿から、私たち高校生にとっても、議員の方々には身近な存在だと感じました。私も生徒会役員として、全校生徒に話しかけにくいイメージを持たれていくかもしれないので、一人一人の生徒の意見になるべく応えられるように、今回の座談会で経験したことを活かして、今後の活動を頑張りたいと思います。

6月議会の日程(予定)

27 (水)	21 (木)	20 (水)	19 (火)	18 (月)	15 (金)	13 (水)	12 (火)	8 (金)
閉 会	委 員 会	総務 委員 会	文教 委員 会	総務 委員 会	質 疑	一 般 質 問	一 般 質 問	開 会

編集後記

青空に鯉のぼりが泳ぎ、田植えがはじまるよい季節になりました。
議会だより編集委員会は、今回、若者にも読んでもらえる議会だよりづくりの企画として、10名の東温高校生生徒会役員に東温市議会を訪問していただき、座談会を開催しました。高校生の意見を参考に今後、より多くの若者にも読んでもらえるような編集を行ってまいります。
(渡部繁夫)

議会インターネット中継



東温市
イメージキャラクター
いのとん

「市のホームページ」で議会開会中、生中継がご覧になれます。
また過去2年間の録画中継もご覧になれます。
(市ホームページアドレス)
<http://www.city.toon.ehime.jp/gikai/>

発行責任者 伊藤 隆志

編集委員
委員長 松末 博年
副委員長 東村 温輝
委員 安井 浩二
丸山 稔
相原真知子
森 眞一
渡部 繁夫
丹生谷 美雄

故 永井雅敏議員のご冥福をお祈り申し上げます。

表紙写真／松末 博年